

授業科目名	ピアノ演奏	担当教員名	池内 恵美 / 他
科目区分	教職・保育に関する科目	施行規則に定める科目区分 等	大学が独自に設定する科目-保育の内容・方法に関する科目
必修・選択/単位数	必修 / 4単位 (90時間)	授業方法/担当形態	演習 / 複数
開講学年/学期	1年 通年 (1-4期) / 年間開講数 2講座	特記事項	※実務経験のある教員等による授業 ピアノ、声楽指導者として音楽教室を主宰している経験を活かし、音楽の基礎的知識、技能の習得のための指導を行っている。
授業の概要及び全体目標	保育の現場で必要なピアノ演奏のための技術を段階的に習得する。 段階的に習得したピアノ演奏技術を駆使して弾き歌いのレパートリーを増やし、弾き力と歌唱力を高める。		
到達目標	<p>(1)音楽の基礎的な知識・技能を学ぶことを通し、子どもの音楽表現活動を支えるためのピアノ演奏技術を習得する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 高音部記号と低音部記号の読譜の方法を理解し読譜力の基礎を習得する。 2) 基本的な連指の方法を理解している。 3) 単純拍子の取り方を理解して演奏することができる。 4) 調性について特徴を捉え、表現することができる。 5) 基本的な音楽記号や音楽用語を理解している。 6) 指の独立と強化 7) 大譜表の読譜方法を理解し、読譜力の強化につなげることができる。 8) 発展的な連指の方法を理解し、演奏することができる。 9) 複合拍子の取り方を理解して演奏することができる。 10) 調性について特徴を捉え、表現することができる。 11) 音価について理解して演奏することができる。 12) 速度、強弱、曲想を表す音楽記号について理解し、表現することができる。 13) ペダルの扱いについて理解し、効果的に演奏することができる。 14) 複雑な音価について理解し、演奏することができる。 15) 基本的な音楽用語に加え、表現の幅をひろげるために添えられる付加語や接尾語について理解し、イメージを豊かにして演奏することができる。 16) 楽譜から読み取れる情報を駆使して、曲の雰囲気合った表現をすることができる。 <p>(2)保育の現場で歌われる弾き歌いに関する基礎技能を習得する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 歌詞の内容を理解して歌うことが重要であることを理解している。 2) 歌詞の意味を理解してイメージを豊かにすることができる。 3) 弾き歌いを通してリズム遊びとしての動きのリズム（マーチ、ワルツ、スキップ、ラン）を理解している。 4) いろいろな伴奏パターンによる弾き歌いができるようになる。 		
テキスト	「改訂歌唱教材伴奏法 バイエルとツェルニーによる」（教育芸術社）、「ブルクミュラー 2 5 の練習曲」（全音楽譜出版社）、「ソナチネアルバム1巻」（全音楽譜出版社）、「教材歌曲集」（大阪教育福祉専門学校）		
参考書・参考資料等	使用しない		
成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・課題曲の取り組みによる基礎点（大阪教育福祉専門学校ピアノグレードの到達レベルにより得点を配分）40% ・実技試験 弾き歌い課題 30% ・実技試験 教則本課題 30% 		
授業外（事前・事後）学習の方法、オフィスアワー等	事前指導については授業で指示する。事後学習については授業内容を振り返りワークシートにまとめる。 オフィスアワー：授業前、授業終了後に質問を受け付ける。		
授業計画	授業の内容	到達目標番号	
第1回	オリエンテーション及びピアノを弾くための基礎的内容の理解 ・授業内容と進め方、グレード制度を理解し、設定された到達目標を確認する。 ・楽器の扱い方、ピアノを弾くための基本姿勢、鍵盤図と大譜表の理解、指番号について理解する。	(1)-1),(1)-2)	
第2回	楽譜の基本と八長調の読譜演習（1） ・音符と休符の音価、拍、拍子記号、単純拍子について理解する。 ・全音符、二分音符、四分音符による課題曲に取り組み、片手奏から両手奏へ移行する。	(1)-1),(1)-2),(1)-3)	
第3回	八長調主要三和音の伴奏による弾き歌い課題曲の演習 ・弾き歌いの演奏方法を理解し、4/4拍子の課題曲に取り組む。 ・弾き歌いでは歌の重要性を知り、発声方法を理解する。	(2)-1)	
第4回	八長調の読譜演習（2） ・八分音符を用いた課題曲に取り組み、リズムを理解する。 ・3/4拍子の課題曲に取り組み、拍子による楽曲の違いを理解する。	(1)-1),(1)-2),(1)-3)	
第5回	八長調以外の調の読譜と付点四分音符のリズム演習 ・ト長調とヘ長調の課題曲に取り組み、調子記号（#、b）について理解する。 ・付点四分音符を用いた課題曲に取り組み、リズムを理解する。	(1)-1),(1)-2),(1)-4)	
第6回	八長調以外の調による弾き歌い課題曲の演習（1） ・ト長調の弾き歌い課題曲に取り組む。 ・左右異なる動きによる課題曲に取り組む。	(2)-2)	
第7回	いろいろな指使いのための演習 ・音階スケールの課題曲に取り組み、指ぐりと指またぎによる連指方法を理解する。 ・ポジションの移動を含む楽曲に取り組み、鍵盤の距離感をつかむ。	(1)-1),(1)-3),(1)-5)	
第8回	臨時記号とその他の演奏上の記号の理解 ・臨時記号を用いた課題曲に取り組み、臨時記号によって音高を変化させることを理解する。 ・スタッカート、スラー、タイ、アクセントについて理解する。	(1)-1),(1)-4),(1)-5)	
第9回	八長調以外の調による弾き歌い課題曲の演習（2） ・ヘ長調の弾き歌い課題曲に取り組む。 ・拍子について学び、拍子感を意識して演奏することを理解する。	(2)-2)	
第10回	三連符と強弱記号の理解（1） ・4/4拍子における三連符の弾き方を理解する。 ・強弱記号について学び、課題曲に示された記号を理解して表現する。	(1)-3),(1)-5),(1)-8)	

授業計画	授業の内容	到達目標番号
第11回	三連符と強弱記号の理解（2） ・2/4拍子における三連符の弾き方を理解する。 ・強弱記号について学び、課題曲に示された記号を理解して表現する。	(1-3),(1-5),(1-8)
第12回	八長調以外の調による弾き歌い課題曲の演習（3） ・二長調の弾き歌い課題曲に取り組む。 ・付点のリズムについて学び、正確なリズムで演奏することを理解する。	(1-3),(1-4),(1-8)
第13回	指の独立を目指すための演習 ・連続した3度重音の課題曲に取り組み、指の独立を目指す。 ・左手最低音を保持する課題曲に取り組み、指の独立と強化を目指す。	(1-5),(1-6)
第14回	いろいろな調による弾き歌い課題曲の演習 ・調子記号、臨時記号、拍子記号を理解し、弾き歌い課題曲に取り組む。 ・歌詞の意味を考え、伝えるための発声方法を習得する。	(2-2)
第15回	ふり返りとまとめ ・実技試験において前期に学習した成果を演奏発表するため、発表する課題曲の練習。 ・前期に学習したピアノ演奏技術の習熟度をふり返る。	(1-2),(1-3),(1-5),(1-8),(2-2)
第16回	オリエンテーション及び前期の復習 ・授業内容と進め方、グレード制度を理解し、設定された到達目標を確認する。 ・夏休みの課題曲チェック	(1-2),(1-3),(1-5),(1-8),(2-2)(2-2)
第17回	いろいろなリズム理解のための演習（1） ・複付点リズムと16分音符の組み合わせによる課題曲に取り組み、複雑なリズムを理解する。 ・左手最低音を保持する課題曲に取り組み、指の独立と定着を目指す。	(1-3),(1-6),(1-11),(2-1)
第18回	リズム遊びとしての動きを理解するための演習 ・リズム遊びの動きとして「マーチ」（歩く）のリズムを理解し、課題曲に取り組む。 ・二長調の課題曲に取り組み、調号を理解して鍵盤位置を確認する。	(1-4),(1-7),(2-2),(2-3)
第19回	複合拍子の楽曲理解のための演習 ・6/8拍子について学び、拍の取り方と弾き方を理解する。 ・同音連打の弾き方について学び、演奏技術を習得する。	(1-8),(1-9),(2-2)
第20回	メロディーと歌詞の関係性に着目した弾き歌い課題曲の演習（1） ・強弱記号について理解し、曲想をつけて弾きながら歌う技術を習得する。 ・速度記号について学び、曲に合ったテンポで弾き歌いすることを理解する。	(1-4),(1-5),(2-2)
第21回	いろいろなリズム理解のための演習（2） ・強起と弱起について学び、拍の感じ方を理解する。 ・反復記号について学び、演奏順序を理解する。	(1-8),(1-12),(2-2)(2-1)
第22回	拍子感を意識した弾き歌い課題曲の演習 ・強起と弱起の楽曲の比較から拍の感じ方を理解し、違いを意識した演奏方法を習得する。 ・強弱記号を意識した歌唱方法を習得する。	(1-7),(1-8),(1-14),(2-2)
第23回	いろいろなリズム理解のための演習（3） ・装飾音符の演奏法について学び、演奏技術を習得する。 ・手の交差（ハンドクロス）について学び、弾き方を理解する。	(1-7),(1-14),(2-2)
第24回	加線のついた音の読譜のための演習 ・加線について学び、読譜の方法を理解する。 ・オクターブ記号について学び、読譜の方法と鍵盤位置を理解する。	(1-5),(1-6),(2-1)
第25回	いろいろな調を理解するための演習 ・イ短調の課題曲に取り組み、短調について理解する。 ・転調について学び、曲を変化させ発展させる役割を持つことを理解する。	(1-5),(1-6),(2-1)
第26回	メロディーと歌詞の関係性に着目した弾き歌い課題曲の演習（2） ・弾き歌いは歌詞の内容を理解して歌うことが重要であることを学び、歌詞の意味とイメージに合うように弾きながら歌う技術を習得する。 ・歌詞の内容を深く理解し、楽譜に書かれた速度記号や強弱記号に注意して課題曲に取り組む。	(1-7),(1-14),(2-1)(2-2)
第27回	いろいろな調による弾き歌い課題曲の演習 ・調子記号、臨時記号、拍子記号を理解し、弾き歌い課題曲に取り組む。 ・言葉の意味を考え、歌詞の重要性を理解する。	(1-7),(1-14),(2-1)(2-2)
第28回	様々なテクニクを要する総合的な演習 ・アクセントやスタッカートなどの演奏上の記号を理解して課題曲に取り組む。 ・リズムや音価の正確さ、テンポ設定に注意して課題曲に取り組む、習熟度をチェックし、技術の徹底を図る。	(1-11),(1-12),(2-2)
第29回	メロディーと歌詞の関係性に着目した弾き歌い課題曲の演習（3） ・歌詞の明瞭さを意識して弾き歌い課題曲に取り組む。 ・歌詞の内容に合った音楽の捉え方を学び、演奏することを理解する。	(1-15),(2-2)(2-4)
第30回	ふり返りとまとめ ・定期試験において後期に学習した成果を演奏発表するため、発表する課題曲の練習。 ・後期に学習したピアノ演奏技術の習熟度をふり返る。	(1-5),(1-7),(1-11),(2-2),(2-3)